

1 題材「伝え合う力を高め、自分も相手も大切に」 イ よりよい人間関係の形成

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、元気で活発な子が非常に多い。本年度、『助け合い あきらめない 仲良い 4年1組』の学級スローガンを設定し、みんなで頑張っていこうと新しい学年のスタートをきった。児童たちは、困っている子に優しく声をかけたり、友達と協力し、いろいろなことにチャレンジしたりとスローガンを意識しながら生活しようとしている。一方で、みんなで何か決める時には自分の意見ばかり主張したり、物事に夢中になりすぎると強い口調で相手を責めたてたりする児童の姿も時折見られ、相手の気持ちを考えずに自分の感情を押し通してしまうところに課題を感じている。

しかし、学級会や係活動を通して、自分と相手には同じ意見や違う意見があることに気付き、相手の意見を受け入れることを経験していく中で、少しずつ自分の感情をコントロールできるようになってきた児童が増えている。また、1学期末に行った学級アンケートでは、「学級はどんなイメージか」と尋ねたところ、「元気」「おもしろい」「明るい」「にぎやか」と答える児童が多く、その理由の中には「友達と遊ぶのが楽しいから。」や「友達がいつも声をかけてくれるから。」などが多かった。おおむね、学級内の人間関係が良好になってきていると考察できるが、さらにアンケートを見ていくと、友達との関わりの中で困ったことがあったり、嫌だった経験をしたりした児童もおりまだ改善点も多く残っている。児童にはその実態に気付くとともに、お互いの考えを理解しあいながら、よりよい人間関係を築くことの重要性を考えさせる必要がある。

(2) 題材設定の理由

4年生は、友達との関わり方を自分なりに考えられるようになる反面、客観的に他人と自分を比べてしまい、自己肯定感の低下や劣等感を抱いてしまう時期でもある。その結果、自信のなさから不用意に人を傷つけ、感情のコントロールがうまくできないまま成長してしまうことも考えられる。「10歳の壁」や「ギャングエイジ」とも呼ばれるこの時期に、人との正しい関わり方や感情のコントロールの仕方を学び、互いに認め合い、励まし合える集団を目指してほしいと願い、本題材を設定した。心理学者のロバート・プルチックによると基本的な感情は「喜び」「驚き」「期待・予測」「信頼」「恐れ」「悲しみ」「怒り」「嫌悪」の8つに分かれている。何か物事が起きた時、どの感情をもちやすいのか、苦手な感情と出合った時、自他を大切にしながら自分の感情をどう安全に表現していくのかを考えさせながら、よりよい人間関係を築く方法を身に付けさせたい。

(3) 指導にあたって

①自分の生活の問題に気付く活動(事前の活動)

学級の課題を自分事として捉えさせるために、事前に学級アンケートを実施した。学級のことをどう思っているのか、友達との人間関係で良いところや困っていることはないか考えさせ、関心をもたせた。(つかむ)

②集団思考を生かして、個人目標を自己決定する活動(本時の活動)

グラフ化した学級アンケート結果から課題をつかませ、感情がコントロールできにくくなる場面を振り返らせる。そして、教師から感情のコントロールの仕方を提示した後、タブレットを用いて感情に対する安全な表現の方法について話し合わせる。最後に、様々な方法について学級全体で共有しながら、自分に適したよりよい方法を探らせ、個々に具体的なめあてや実践方法を決定させる。(さぐる)(見付ける)(決める)

③目標実現のための日常活動(事後の活動)

1日の最後に自分の目標について振り返る機会を設け、ワークシートに記入させる。一週間後、自身の生活の仕方についてどのように変わったのか、どのような効果があったのかを発表し、共有させる。

3 活動の流れと指導助言・評価規準

	活動内容	時間	指導上の留意点	評価規準
時前の指導	アンケートに記入する。	15分 朝の活動	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身や学級の良さや課題などを調査し、表やグラフにまとめる。 4年生としての生活を振り返り、今後のよりよい人間関係の構築について意識を高められるようにする。 	◎集団の中の自分や学級の良さや課題について進んで考えている。(主体的態度)
本時	「伝え合う力を高め、自分も相手も大切に」	10/28 (木)	本時の活動に記載	
事後の活動	自分の立てた目標や取り組みについて振り返る。友達同士で頑張ったことを認め合う。	11/1 (月) ～ 11/5 (金) 帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> 事後に振り返る機会を設けたり、帰りの会で発表したりするなど日常での実践化につなげる。 自分や友達の頑張りを認め合うことでさらにお互いの自己肯定感を高め、よりよい人間関係を築いていけるよう助言する。 	◎目標について振り返り、友達の良さを発信する中で、集団の中の一員としての自分の役割を果たしている。 (主体的態度・ワークシート)

4 本時の活動

(1) ねらい

感情をコントロールする仕方を知り、様々な感情に対して自分に合った対処法を考えることができる。

(2) 活動計画

児童の活動	指導上の留意点	めざす児童の姿と評価方法
1 事前のアンケートを見て気付いたことを話し合う。(つかむ)	<ul style="list-style-type: none"> 友達関係における学級全体の課題を把握し、課題解決に向けての意欲を高める。 タブレットでアンケート結果を確認させる。 	◎学級の良さや課題について真剣に考えている。(主体的に学習に取り組む態度)
感情をコントロールするためには、どうすればいいのか考えよう。		
2 どんな時に感情がコントロールしにくくなるのか考える。(さぐる)	<ul style="list-style-type: none"> 感情をコントロールすることは、大人でも難しいことに気付かせる。 感情を思いのままぶつけることの問題点についても考えさせる。 	◎様々な感情に対して対処法を考えている。(思考・表現・判断)<観察・ワークシート> ◎自分の課題に合った具体的な目標を決めている。(思考・表現・判断)<発表・ワークシート>
3 感情のコントロールの仕方を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 感情のコントロールをするための方法を提示する。 	
4 アクティビティを通して、感情のコントロールの仕方を実践する。 (見付ける)	<ul style="list-style-type: none"> タブレットを活用し、ペア学習などを通して、感情に対する安全な表現の仕方について話し合う機会を設ける。 	
5 話し合ったことを全体で共有し、これからの生活における自分の目標を決める。 (決める)	<ul style="list-style-type: none"> 全体で感じたことや気付いたことを共有する場面を設ける。 自分の課題やさらによりよい自分になるための具体的な目標が決められるよう、助言する。 	

月 日 曜日 () 時間日	名前【		】
題材名【		】	

つかむ	
さぐる	
見つける	
決める	

ふりかえり						
11月 日	11月 日	11月 日	11月 日	11月 日	11月 日	11月 日
◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
○	○	○	○	○	○	○
△	△	△	△	△	△	△
自分がんばったこと、よくなってきたところ、もっとがんばりたいこと						

